

# ご近所の お医者さん

## ウイメンズクリニック本町院長

藤野祐司さん=大阪市中央区

出会いみつめる



甲状腺と不妊症

甲状腺の異常は女性に多く、内科で取り扱われる病気ですが、甲状腺機能低下症や亢進症は、以前から産婦人科では不妊症や流産の原因のひとつと言われていました。今、不妊症診療の中でも、不育症や腎下垂はすべての妊娠さんの0.1%程度ですが、中でも免疫異常が原因となる橋本病が多いとされます。また、甲状腺疾患を中心とした内分泌異常は不育症の原因のうち5%

えている場合も、「潜在性甲状腺機能低下症」と判断して医療介入する必要があるという考え方方が広がっています。

ヨードをたくさん食事から摂取している。WHO（世界保健機関）ではヨード摂取量を1日量で250μg（マイクログラム）としていますが、日本

断治療は避けて通ることはできなくなっています。甲状腺機能低下症が高まるとも言われています。甲状腺の検査で、甲状腺ホルモンのひとつである「FT4」の値が低い場合は、「甲状腺機能下症」と診断され、治療が行われます。ところが、最近、FT4が正常であるけれども、甲状腺刺激ホルモン（TSH）が正常値を

2・5以上を「潜在性甲状腺機能低下症」の判断基準として運用しています。この値を基に調べてみると、昆布だしワカモレののみそ汁でなんと約1万倍ものヨードが含まれているそうです。昆布だしに慣れ親しんだ関西人はヨード摂取量が少々多いかもしれません。たまにはかつおだしにされてはいかがでしょうか！

食生活を考えましょう

の判断基準とみなされ  
と言われています。  
すると、昆布だしワカ  
リなんと約1万合分の  
れ親しんだ関西人は  
が少々多いかもしけ  
にはかつおだしにさ  
でしようか…

おおせか